# 平成31年度（令和元年度）　全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立第二中学校）

令和元年　9月　18日

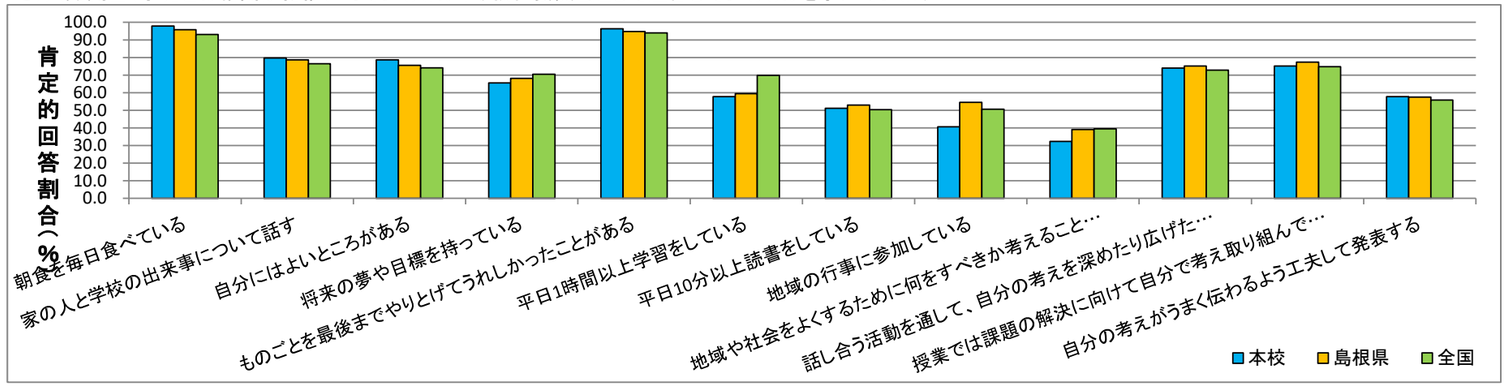
(1)学力調査結果から見られた傾向

| | 成果と課題(○:成果，●:課題) | 対　策 |
|---|---|---|
| 国語 | ○話し合いの話題や方向を捉え、自分の考えをもつ能力はやや優れている。<br>●封筒の書き方を理解して、指示に合わせ書く力が身についていない。<br>●話の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する力がやや劣っている。 | ・グループ等での話し合い学習の中で、自分の考えをもったり深めたりする場面を、今後も計画的に設定していくことを継続する。<br>・学習したことが生活の中に生かせるよう考えたり、実際に利用できたりする力として身につくように学習の仕組みを工夫する。 |
| 数学 | ○「数と式」「関数」の知識・理解、技能の正答率は県平均を上回っている。<br>●事象を数学的に解釈したり、考察したりすることや資料の傾向を読み取ったりする力が弱い<br>●数学的な表現を用いて説明する力が弱く、記述式の問題での無回答が多い。 | ・各領域の反復練習をしっかりと積んでいけるように、授業や家庭学習の課題を設定する。<br>・授業で事象を数学的に解釈したり、考察したりする課題や場面を増やす。<br>・数学的な表現を用いた説明を生徒に示すとともに、自分の考えや解決方法を記述したり、説明したりする課題を意識して設定する。 |
| 英語 | ○話すことに対する抵抗感があるが、練習したことのあるテーマについては自信をもって話すことができる生徒が多い。<br>○英語学習が将来役に立つと感じている生徒が多い。<br>●記述形式の問題の無回答率が高い。<br>●時制に関する文法など、基本的な文法事項の定着率が低い。 | ・書くことに対する抵抗感が強いので、1文ずつ書く練習を反復して行い、まとまりのある文章を書く練習へと移行して指導する。<br>・1学期から取り組んでいる文法復習のプリント学習を、今後も継続して行う。 |

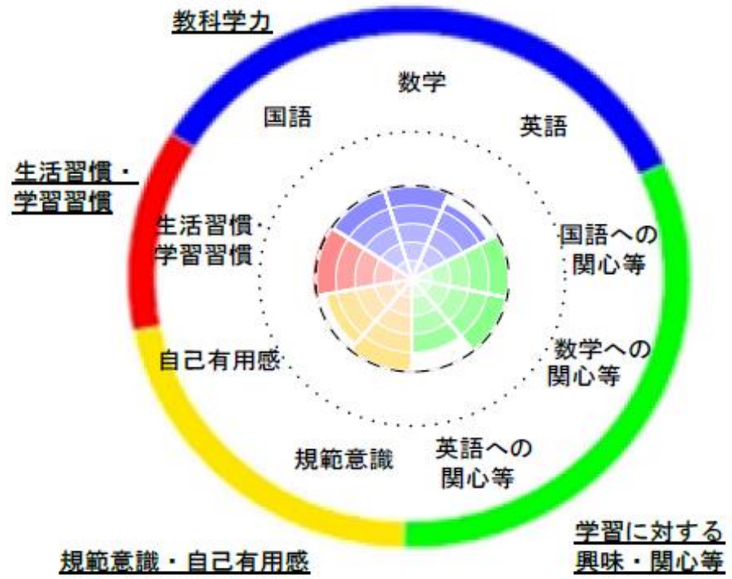
(2)生活意識調査から見られた傾向

| 成果と課題(○:成果，●:課題) | 対　策 |
|---|---|
| ○家庭での基本的生活習慣や学校でのルールやマナーを意識している生徒が多い。<br>○話し合いや協働的な学習に意欲的で、他者と関わることで学習が広がったり深まったりしていると実感している生徒が多い。<br>●家庭学習に取り組む時間が、全国平均を下回っている。<br>●地域の行事に参加している生徒が少なく、自身と社会とを結びつけて考える生徒が全国・島根県の結果よりも少ない。 | ・将来について考えたり、目標設定をしたりする時間を充実させ、学校や家庭での学習へ向かう意欲向上につなげる。<br><br>・地域や家庭との連携をさらに深め、ボランティア活動や行事への参加などを積極的に促進していく。 |

(3)意識調査（学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています）




(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）




(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・学校・家庭・地域の協働による、望ましい生活習慣・学習習慣の確立

・松江二中の生徒としての誇りをもたせ、地域に貢献できる生徒の育成をめざし小中一貫教育のさらなる充実や、地域の「ひと・こと・もの」を活用した教育の推進

【参考】

○平均正答率　（%）

| | 本　校 | 松江市 | 島根県 | 全国 |
|---|---|---|---|---|
| 国語 | 72 | 73 | 73 | 72.8 |
| 数学 | 61 | 60 | 57 | 59.8 |
| 英語 | 51 | 54 | 53 | 56.0 |

受検者数　192 人

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受験者数をもって表示しています。